



リイシリ

博物館だより

令和5年
358号

11/3
FRI

秋の探鳥会

日時 11月3日(金・祝)

9時～10時

場所 見返台園地への車道

集合場所

見返台園地への車道脇、自然休養林看板前(詳細はお申込み時にお知らせします)

内容

秋は北の繁殖地から南の越冬地まで移動する渡りの季節です。鳥たちは厳しい冬を前に気温や食料の面で過ごしやすい南の地域に移動するといわれています。この時期の利尻島では、季節を問わずに見られる留鳥のほかに、渡りの途中の旅

発行：利尻町立博物館

住所 〒077-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町136

電話 0163-85-1411

FAX 0163-85-1282

e-mail riishir@museum@town.riishiri.hokkaido.jp

鳥たちもみられます。

この探鳥会では、野鳥を探しながら、植物をはじめとする秋の自然を楽しみながら散策を行います。初めて鳥の観察を行う方には、双眼鏡や図鑑の使い方のガイドンスも行いますので、バードウォッチングにこれから挑戦してみたい方もお気軽にご参加ください。

持ち物

- ・ 筆記用具
- ・ 観察道具(双眼鏡やカメラ、図鑑など)
- ・ フィールド散策に適した靴
- ・ 長袖・長ズボン(冷え込みに対応できる服装)

※双眼鏡は数台貸出できません。ご希望の方はお申込み時にお知らせください。

申込

定員10名。

締切は11月1日。

お電話、メール、当館ホームページ上のお問い合わせフォームから、お申込みいただけます。参加者のお名前、当日の連絡先をお伝えください。メールやフォームからお申し込みの際には必ず返信いたします。土日を除き、2日以上返信がない場合には、改めてご連絡いただきますようお願いいたします。

その他

雨天・悪天時には中止いたします。



過去の探鳥会の様子。双眼鏡の使用方法を参加者みなさんと確認しています。双眼鏡の使用に慣れると、野鳥探しがより一層楽しくなりますよ。

お知らせ

利尻研究へのご投稿

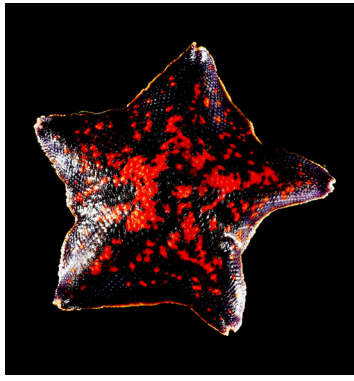
「利尻研究」は1年に1回出版される当館の研究紀要です。利尻島や道北地域、離島に関する幅広い研究成果を掲載しています。次号(43号)は2024年3月に出版を予定しており、準備を進めています。掲載をご希望の方は2023年11月30日までにご投稿をお願いいたします。校了順に掲載し、予定ページ数を超過した時点で次々号(44号)への掲載となります。11月30日以降についても次々号以降への掲載分としてのご投稿を心よりお待ちしております。

ご投稿の際には投稿規定(本誌およびホームページに掲載)に従った原稿の作成にご協力をお願いいたします。原稿執筆が初めての方や不安な方は、学芸員がサポートいたしますので、お気軽にご相談ください。

利尻の海の不思議 23 イトマキヒトデ

北海道から九州まで幅広く生息し、水族館のタッチプールなどでもよく見かけるイトマキヒトデ。利尻の海では、青地に橙色の模様が目を惹きます。

利尻島を舞台に過去には調査が行われており、7〜8月ごろに成熟し、産卵・放精していることが報告されており（高橋1979）、利尻で漁獲されているウニ類と同じ時期に繁殖していると考えられます。海辺に出かけた際には彼らの姿もじっくり観察するとおもしろいかもかもしれません。



利尻島沿岸で採集したイトマキヒトデ。模様や色合いは個体によって違うので、海辺で見比べてみても面白いです。

高橋 1979. 利尻島産イトマキヒトデの繁殖期. 日本水産学会誌. 48:945-950.

博物館事業報告

第三回移動博物館

鯨がとれた頃の杢形

5月9日〜23日に交流促進施設「どんと」、仙法志支所にて第三回移動博物館を開催しました。今回は「鯨のとれた頃の杢形」をテーマに、利尻島出身の角谷弘二さんが撮影した写真を展示しました。昭和20〜30年代ごろの利尻島の街並み、鯨漁や昆布漁の様子がいきいきと切り取られており、当時の賑わいを感じられます。

期間中には、来場者方々から当時の漁の様子や暮らしなどのお話を伺うことができ、とても勉強になりました。来場者の中には、写真をご覧になりながら、当時の思い出を振り返り、懐かしんでいる方もいらっしやったのが印象的でした。博物館にはこのほかにも多数の写真を保管しておりますので、ぜひお立ち寄りいただき、閲覧していただければ嬉しいです。

オオハンゴンソウ防除会

オオハンゴンソウは黄色の花が美しい植物ですが、国外から持ち込まれた外来種です。寒さや湿地に強く、さかんに繁殖することが知られ、利尻島在来の植生を脅かしています。今年度は5月20日に防除会を開催し、参加者3名、学芸員2名で防除作業を行いました。1時間30分程度の作業で、853本も抜き取りを行うことができました。地中には塊茎（イモ）をつくり、抜くのに一苦労ですが、達成感があります。来年以降も開催したいと考えておりますので、ぜひみなさんも挑戦してみてください。



交流促進施設「どんと」の展示会場。モノクロ写真だけでなく、当時はあまりみられなかったカラー写真も展示しました。より鮮明に当時の様子が伝わりますね。

傷病鳥保護

2023年6月〜8月は7件の傷病鳥の対応を行いました。

- ・種不明、6月20日、仙法志、富山愛梨さん（見守りをお願いしました）
- ・カワラヒワ、7月21日、鴛泊港町、北風真知子さん
- ・オオコノハズク、7月21日、仙法志、保野洋一さん
- ・ウミネコ、8月15日、仙法志、仙法志小学校
- ・アオサギ、8月15日、南浜湿原、来館者（利尻富士町役場に連絡しました）
- ・シジュウカラ、8月22日、仙法志、廣川勲さん
- ・ゴジュウカラ、8月29日、仙法志、阿部支帆子さん

リイシリ購読・閲覧

利尻町内の方には無料でお届けしています。町外の方は1部につき郵送料84円のご負担で定期購読が可能です。メール配信も行っております。定期購読については当館までお気軽にお問い合わせください。

なお、本誌は博物館のホームページでも閲覧可能です。最新号のほか、過去2年分のバックナンバーも公開中です。下のQRコードからアクセスしてください。



スマホで
アクセスできます！

